

伊賀市社協 だより

令和7年9月1日発行

No.234

9月号



みどり保育園



グループホームあやま



今年の夏は

太陽作業所（生活介護）



ふっくりあホイスコーレ



思い出いっぱい！

令和7年度 夏休み
ふくし体験教室 開催

デイサービスセンターなしのき



小規模多機能型居宅介護 しらふじの里



災害に備えて、 各地域ごとに 課題整理始まる

災害により犠牲となっている方が多くが高齢者や障がい者などの、避難行動に支援を要する人々です。発災時に備えるためには、平時から自らを守る「自助」と、近隣で助け合う「共助」の活動を推進し、「安心・安全」を守る取り組みが必要です。

そこで、令和8年度から始まる「第5次伊賀市地域福祉計画」と「第5次伊賀市地域福祉活動計画」の策定に向けて、市内39地区の地域福祉ネットワーク会議等と社協が共催し、各地域でワークショップが始まりました。

今後は、こうした話し合いの中で出された意見や地域の実情をもとに、地域住民・関係団体・行政が一体となり、災害時にも支え合える地域ネットワークの構築を進め、誰ひとり取り残さない共生社会の実現を目指していきます。



ワークショップで出た、地域の課題（一部抜粋）

●地域の立地・環境



- ・河川や土砂災害の危険地域が多い
- ・災害時に孤立する可能性が高い地理条件（道路が少ない、狭い、坂道、橋など）
- ・道が狭く、緊急車両が入れない
- ・地理的に物資など必要な支援が届きづらい
- ・高台で水不足の不安、停電の恐れ
- ・耐震基準を満たしていない古民家が多い



●避難所



- ・避難所の立地に問題がある（川が近い・浸水エリア）
- ・避難所の強度が充分でない
- ・避難所が整備されておらず不安がある
- ・避難所が1つしかなく孤立のリスクが高い
- ・避難所が少なく受け入れられる人数が少ない
- ・避難所との連携をどうするかが未定



●防災への意識・備え



- ・防災を自分ごととして考えられていない
- ・防災意識が低く、活動もない
- ・備蓄など、防災への心構えが不十分
- ・備蓄があれば生きていけると安心している
- ・耐震診断、工事費用が高く対策が取りづらい



●避難行動



- ・高齢者や動きづらい人の避難が困難
- ・平時から移動に車が必須で、避難が困難
- ・外国人との連携・情報伝達できていない
- ・夜間にひとりで歩いて避難できない



●避難支援者



- ・避難誘導が必要な隣の人の様子がわからない
- ・個人情報との壁で避難支援がしづらい
- ・高齢者が多く、災害時にみんなの手助けが可能か
- ・頼りにしている人も高齢である
- ・消防団員が高齢化し、若手が少ない、担い手不足、地域内に組織がない
- ・女性・子ども・若者の参画が少ない
- ・リーダー不在、地域のまとまりがない



●防災体制づくり



- ・防災体制や対策が脆弱
- ・地域の高齢化が進み、防災訓練の参加者減少
- ・要援護者参加型の避難訓練ができていない
- ・避難情報伝達（防災無線が届かない地区）に不安
- ・防災マップや名簿の整備不備
- ・自治協間など他地域との連携が不十分
- ・人口に対して公助が期待できない

地域福祉コーディネーターより

阪神・淡路大震災では、公的な救助によって助かった人は全体のわずか2%にとどまり、大多数の方が家族や近隣住民の手によって救助されたとされています。「平時にできていないことは、非常時にもできない」と言われるように、災害発生直後から避難生活に至るまで、日ごろの備えが重要です。

今後は、地域全体で防災力を高めていくためにも、平時からの顔の見える関係づくりや、助け合いの仕組みづくりが一層求められます。日常の中での声かけや見守りといった、小さなつながりを大切にしながら、「元気で仲良く」を心がけてみませんか。



地域福祉コーディネーター
よしだ 文江

外国人のみなさんのための
ぼうさいイベント

じしんやすいがいなど、さいがいにそなえるためのおはなしをきいたり、たいけんなどをしたりします。ぼうさいグッズやひじょうしよくのおみやげがあります。

【日時】9月21日(日) 午後1時～3時
【場所】ヒルホテルサンピア伊賀4階
(西明寺2756・104)

【参加費】無料

※もつしこみがひつようです。

【申込み先】上野ロータリークラブ

福増 ☎090・2188・6690

上島 ☎080・3071・3869

伊賀市障がい者スポーツ大会
参加者募集

障がいのある方がスポーツを通じて、健康づくりや仲間との交流を行います。ぜひ、ご参加ください。

【日時】10月4日(土) 10時～15時

【会場】DMGモリアリーナ

【競技内容】大まり送り・スカットボール・玉入れ・パン食い競争など

【参加要件】市内にお住まいの、障がい者手帳をお持ちの方(18歳未満の方は、保護者同伴)。福祉施設ご利用の方は、施設を通じてお申込み。

【申込・問い合わせ先】

伊賀市障害者福祉連盟事務局

☎33・0064

非常時支援資金調達・管理
センター支援金募集

災害や感染症など、予期せぬ非常時には「今日食べる物が無い」「明日寝る所がない」といった切実な声が届きます。新型コロナウイルスの際、伊賀市社協では、市民の皆さまの寄付により緊急支援活動を実現できました。この経験をもとに、迅速な支援を可能にする「伊賀市非常時支援資金調達・管理センター」を、公的支援ではカバーしきれない「すき間」を、市民や企業の力で補うために立ち上げています。

非常時に即応できる体制を支えるため、企業・個人の皆さまからのご寄付をお願いしています。力強いご支援を心よりお願いいたします。

寄付者名はホームページ等でご紹介いたします。

このような
支援活動に
活かされます

自然災害
発生

公衆衛生
危機

経済危機

【お問い合わせ先】伊賀市非常時支援

資金調達・管理センター事務局

(上野ロータリークラブ)

☎24・3100

ホームページ▶



【ご寄付のお申込み・問合せ先】

伊賀市社協 ☎21・5866

金澤兼六製菓 チャリティー
セールのご案内

(株)金澤兼六製菓

では、SDGsの活動に取り組んでおり、その目標の1つとして、食品ロスの削減を推進しています。その一環として、フルーツゼリーの販売が終わる時期に、賞味期限が十分にあるものも含め、チャリティーセールを開催します。なお、売り上げの一部は、社会福祉協議会に寄付されます。

【日時】9月13日(土) 8時半～13時半

※荒天時は9月15日(月)に延期

売店:LINEアカウントでお知らせ



【開催場所】金澤兼六製菓 三重工場

(西明寺2380-1)

【問合せ先】金澤兼六製菓 三重工場

☎23・1131

9/13(土) チャリティーセール

売上の一部を伊賀市社会福祉協議会に寄付させていただきます。

ゼリーとパウンドケーキの試食し放題!

ふるさとゼリー 超特価! 500円

SDGs

われせん大特価! 250円

売切れの場合は、ご迷惑なさい

広告募集中!

サポステPRセミナー【要申込】

働くことに悩みを抱えている若者と家族に伝えたい

『困難な状況でも自分らしく生きるために』
～自分の思いや考え、強みを知り、自分を信じる力を養う～

講師 萩 典子さん/鈴鹿医療科学大学 大学院医療科学研究科 教授(博士 医学)

日時 9月27日(土) 13:30～15:30

場所 ゆめぼりすセンター 2F大会議室

15～49歳までの 仕事に就きたい人とその家族を応援! 就職相談・各種講座 ▶ 利用無料 要予約

サポステ ☎0595-22-0039

伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階

いが若者サポートステーション 開所日/月～金 9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始休)

ご不要車買取ります。

・年式の古い車

・乗らなくなった車

愛車の買取なら地元企業の

亀井商事

出張買取 査定費用 0円 買取手数料 0円

買取受付ダイヤル

0595-62-3131

株式会社 亀井商事 ジョイオートサービス 青山店

伊賀市青山羽根381-27

株式会社 亀井商事 高尾市東町2-11 https://www.kamei.co.jp/

数字で見る伊賀市の福祉

令和7年6月末現在（前月比）

伊賀市の人口	▶ 83,809人（-85人）		
伊賀市の世帯数	▶ 40,511世帯（-8世帯）		
65歳以上高齢者数	▶ 28,723人（-29人）	高齢化率	▶ 34.3%（±0%）
75歳以上高齢者数	▶ 16,857人（-4人）	後期高齢化率	▶ 20.1%（±0%）
介護保険認定者数	▶ 6,202人（+34人）		

あなたのまちの
ふれあい・いきいきサロン

No.220



東条いきいきサロン

メンバー数／15人
開催場所／東条公民館
開催頻度／月1回

東条いきいきサロンは、平成27年に始まり、10年以上も地域の皆さんの大切な居場所として、みんなで集まって一緒に体操をしたり、歌を歌ったり、ものづくりをしたりと、「みんなで楽しく、和やかに過ごせる場所」にしたいという願いから、スタートしました。サロンでは、さまざまな活動が行われていますが、参加者の中に落語がお好きな方がいらっしやったことをきっかけに、毎年恒例の「落語鑑賞会」が始まりました。今では、皆さんが毎年心待ちにしている人気のイベントです。

この日は、岡波総合病院の理学療法士の方から、「お家でできる腰と膝の体操」を教わりました。会場からは楽しそうな笑い声が聞こえ、和やかに体操をされていました。代表の藤森さんは、「サロンが地域の人たちが交流ができ、またたくさんの人が安心して来られる場所、そして皆さんの元気を確認できる大切な役割も果たしているので、これからも長く続けていきたい」と話してくださいました。

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

理事・監事・評議員 改選

任期満了に伴い、伊賀市社会福祉協議会では役員等の改選を行いました。

理事

学識経験者 平井俊圭（会長）
学識経験者 勝本順子（副会長）
各種住民組織（住民代表的）奥澤重久
各種住民組織（住民代表的）井上順子
各種住民組織（住民代表的）荻内勝子
福祉専門機関、団体 和文子
福祉専門機関、団体 小田紀忠
学識経験者 市川久二
学識経験者 平田知律
学識経験者 谷口修司
学識経験者 辻浩司
学識経験者 田邊寿司

監事

社会福祉事業に識見を有する者 稲森洋幸
社会福祉事業に識見を有する者 常岡敬子
財務管理について識見を有する者 赤塚法生

評議員

上野地域センター 中村伊英
いがまち地域センター 増岡茂樹
島ヶ原地域センター 西口馨
阿山地域センター 本田基久
大山田地域センター 中川博昭
青山地域センター 川合八司
当事者等の組織 福本紀昭
社会福祉に関する活動を行う団体 西口保次
社会福祉に関する活動を行う団体 城埜美香
社会福祉に関する活動を行う団体 西口育男
社会福祉に関する活動を行う団体 別所泰広
保健医療関係団体 田中満
事業者関係等 松村浩
商工関係団体 瀬戸早苗
教育関係団体 西口早苗
社会福祉行政機関 川北喜道
学識経験者等 前川完一
学識経験者等 森野真治

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
いがまち	〒519-1413 愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1313 馬場 1128 番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
大山田	〒518-1422 平田 656 番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988 の1 番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555

編集後記

表紙の夏休みふくし体験教室には、おひとりから友だちや親子、従兄弟同士など、昨年以上にたくさんの体験申込がありました。施設のご利用者様も、新しい出会いと交流の機会に笑顔があふれていました。体験の様子は、次号で詳しくご紹介する予定です。